

平成23年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費

2 項 企画費

交流推進課 (内線：7240)

1 目 企画総務費

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) ロシア沿海地方との友好交流1周年記念事業	10,448	0	10,448				10,448	
トータルコスト	23,229千円 (前年度：0千円) [正職員：1.6人]							
主な業務内容	沿海地方との連絡調整、事業の企画・立案、資料の翻訳、関係部署との連絡調整、交流事業を行う民間団体の支援、来県者への随行、通訳等							
工程表の政策目標(指標)	既存の地域間ネットワーク及び本県が持つ地勢的優位性を活かすべく戦略的な連携を構築							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

鳥取県とロシア沿海地方が「友好交流の覚書」を締結してから20年、「友好交流協定」を締結してから1年を迎えることから、両地域において記念行事を開催することによりお互いの絆を強化するとともに、両地域の住民が相手地域に対する理解を深める行事を開催する。

2 主な事業内容

(1) 事業費 10,448千円

(2) 事業内容

①鳥取県内における行事

・ロシア沿海地方文化デイズ (9月を予定)

「友好交流協定」締結1周年を記念して県立博物館においてロシア沿海地方の文化を紹介する展示会、ワークショップ、記念フォーラムを開催する。

・帆船「ナデジュダ号」の寄港(10月を予定)

ロシア沿海地方ウラジオストクにある海洋国立大学所有の帆船「ナデジュダ号」を寄港させ、一般見学会を実施するとともに、同帆船に乗船してくるロシア側学生と鳥取県内学生との間で交流会を実施する。

②沿海地方における行事(9月を予定)

・友好記念プレート除幕式

ウラジオストク市内に「鳥取県・沿海地方友好交流プレート」を設置

・国際会議への参加

沿海地方行政府が主催する国際会議へ出席し、基調報告を実施。

・鳥取県文化デイズ

和太鼓演奏団及び生け花団講師団を派遣し、「鳥取県文化デイズ」を開催。

3 これまでの取組状況、改善点

・1991年10月にソ連沿海州(当時)と「友好交流に関する覚書」を締結し文化・スポーツ交流を中心に交流を行ってきたところであるが、2010年5月に覚書から友好交流協定へ格上げした。

・平井知事訪露による大規模行事《北東アジアサミット(H20)、ロシア沿海地方における鳥取週間事業(H21)、日露知事会議(H22)、ウラジオストク150周年記念行事(H22)》を実施したことにより鳥取県の知名度は飛躍的に上昇した。

・今回、記念事業を実施することにより、沿海地方における鳥取県のプレゼンスを不動のものとし、「友好交流協定」に明記されている幅広い分野における交流を実施するための確固たる基盤を築く必要がある。